

人形供養祭

8月23日(土)、猛暑の厳しい中、町墓地公園では人形供養祭を開催しました。

多くの町民のみなさまが、長年大切にされた人形やぬいぐるみを供養のために持ち込んで来られました。

住職による読経が行なわれ、持ち込まれた人形やぬいぐるみに感謝の気持ちを込めて祈りを捧げ、思い出の品々に別れを告げました。

人形供養祭を通じて、物を大切にする気持ちと感謝の気持ちを深める機会となりました。



防災講演会

8月31日(日)10時から保健福祉センターで防災講演会を開催しました。

四日市大学 副学長 鬼頭浩文教授を講師に迎え、「自助・共助の重要性 ～過去の災害から学ぶ～」についてご講演をいただきました。

講演会には、地域住民・自主防災隊・消防団員等約150名の参加がありました。参加者は改めて、日頃の備え、自分の身は自分で守る「自助」や地域、隣近所で助け合う「共助」の大切さを再認識させられる貴重な講演に真剣な表情で耳を傾けていました。



講演の様子▶



なんでも掲示板



《四日市市消防本部からのお知らせ》

秋の火災予防運動を実施します 11月9日～11月15日
急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

11月9日～11月15日までの7日間にわたり全国一斉に実施される秋の火災予防運動に伴い、火災を未然に防止するため本市においても同運動を行います。

●火災原因はたばこが1位

令和6年中の四日市市、朝日町、川越町で発生した火災は78件です。火災原因のうち最も件数が多かったのは、たばこで9件です。つづいてストーブ、こんろ、電気配線がそれぞれ6件となっています。

火災の発生を防ぐために、次の4つの習慣と6つの対策を守りましょう。

●住宅防火 いのちを守る 10のポイント

《4つの習慣》

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントのほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。



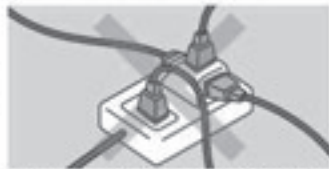
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントのほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

《6つの対策》

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

●山林火災を予防しましょう

秋は空気が乾燥し、風が強く吹く季節となります。山林火災は人的要因による原因が多く、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため山林での火気の取り扱いには十分気を付けましょう。

●山火事予防 4つのポイント

- ①乾燥・強風時は外で火をつかわない。
- ②火気を使用する際目を離さない。
- ③消火用水の確保
- ④使用後は完全に消火確認



問い合わせ先：四日市市消防本部予防保安課
(TEL: 356-2008 FAX: 356-2041)
四日市市消防本部公式ホームページ
<https://yokkaichisyoubou.jp/>

